

プログラム

講演会名称 2015年度 第2回 再生医療 血液臨床応用 国際特別講演会
 テーマ 再生医療新法施行 自己血由来の成長因子を用いた再生療法
 ～その理論と実際～
 主催 一般社団法人 東京形成歯科学研究会／国際血液・幹細胞臨床
 応用会議(ISBB)
 後援 一般社団法人 日本再生医療学会
 開催日程 2015年11月1日(日曜日) 9:10～17:00
 開催場所 東京大学 医学部研究科教育研究棟14F 鉄門記念講堂

【基調講演】

- 9:25～10:25 テーマ「血液生体材料の開発と臨床応用に関する現状」
 ・講演者:川瀬 知之(新潟大学大学院医学総合研究科顎顔面再建学講座
 座歯科薬理学分野 准教授)
 ・座長:星 和人(東京大学大学院医学系研究科外科学専攻感覚・運動機能
 医学講座口腔外科学分野 准教授)
 ○10:30～11:30 テーマ「再生医療の血液生体材料の現状と将来」
 ・講演者:蘇 正堯(国際血液・幹細胞臨床応用会議 ISBB 会長、国際再生
 予防学会 WCPRM 理事、国立陽明大学 教授)
 ・座長:①大島 勇人(新潟大学大学院医学総合研究科顎顔面再建学講座
 座硬組織形態学分野 教授)
 ②細川 隆司(九州歯科大学 歯学部長 口腔再建リハビリテーシ
 ョン学分野 教授)
 ○11:35～12:35 テーマ「インプラント医療について考慮すべき再生医療
 の最新情報について」
 ・講演者:高戸 毅(東京大学大学院医学系研究科外科学専攻 感覚・運動
 機能医学講座 口腔外科学分野 教授)
 ・座長:①石川 烈(東京女子医科大学先端生命医科学研究所 客員教授)
 ②蘇 正堯(国際血液・幹細胞臨床応用会議 ISBB 会長、国際再生
 予防学会 WCPRM 理事、国立陽明大学 教授)

○12:35～13:00 総括(午前の部)／パネルディスカッション

- ・パネラー:川瀬 知之、蘇 正堯、高戸 毅、石川 烈、細川 隆司
 ・座長:①大島 勇人 ②星 和人

【講演】 第一線で活躍する臨床医による 各種血液臨床応用製剤の現状
 …理論と実際…

- 14:00～14:30 テーマ「インプラント臨床におけるCGFの応用」
 ・講演者:増木 英郎(エルム駅前歯科医院、一般社団法人東京形成研究会)
 ・座長:①渡辺 泰典(あけぼの歯科、一般社団法人東京形成研究会)
 ②矢守 俊介(エルム駅前歯科医院、一般社団法人東京形成研究会)
 ○14:35～15:05 テーマ「PRGFの臨床における使用例」
 ・講演者:渡辺 泰典(あけぼの歯科、一般社団法人東京形成研究会)
 ・座長:増木 英郎(エルム駅前歯科医院、一般社団法人東京形成研究会)
 ○15:10～15:40 テーマ「PRP・PRFを応用した再生療法の最適化」
 ・講演者:奥寺 俊允(王子歯科美容外科クリニック、一般社団法人東京形
 成研究会)
 ・座長:①鈴木 正史(銀座柳通り歯科クリニック、一般社団法人東京形
 成研究会)
 ②高橋 瑋(ハート歯科／PRF研究会会長)
 ○15:45～16:15 テーマ「PRFの臨床」
 ・講演者:高橋 瑋(ハート歯科、PRF研究会会長)
 ・座長:①奥寺 俊允(王子歯科美容外科クリニック、一般社団法人東京形
 成研究会)
 ②柳 時悦(日本橋りゅうデンタルクリニック、一般社団法人東京
 形成研究会)
 ○16:20～16:50 テーマ「CGF・AFGの基礎及び臨床応用」
 ・講演者:黄 炳珍 Bingzhen Huang (ハルビン医科大学客員教授、大
 連医科大学客員教授)
 ・座長:西山 和彦(あい歯科クリニック、一般社団法人東京形成研究会)
 ○閉会の挨拶 奥寺 元(一般社団法人東京形成歯科学研究会 施設長・理事長、
 国際血液・幹細胞臨床応用会議 ISBB チェアマン)

(敬称略)

◆お問合わせ先◆

〒114-0002 東京都北区王子2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ3F
 オクデラメディカル内
 一般社団法人 東京形成歯科学研究会 事務局
 TEL03-3919-5111/FAX03-3919-5114/Eメールokudera@carrot.
 ocn.ne.jp

再生医療新法施行

国際特別講演会

広がる歯科先端治療の新たな可能性

「再生医療新法施行 自己血由来の成長因子を用いた再生医療」その理論と実際」をテーマにこの分野でいち早く国際的に取り組んでいる立場から一般社団法人東京形成歯科学研究会・国際血液・幹細胞臨床応用会議(ISBB)主催の2015年度第2回 再生医療 血液臨床応用 国際特別講演会が11月1日(東京・本郷)東京大学鉄門記念講堂で開かれる。再生医療新法の制定により再生医療の新たな可能性が広がる中で、世界で活躍する再生医療の専門家が日本で展開されているPRP(多血小板血漿)やPRF(多血小板フィブリン)の生成法と臨床応用例を講演。各種血液臨床応用製剤の現状や理論を際で大学教養第2講で活躍する開業歯科医師らが話す。東京形成歯科学研究会の施設長・理事長の奥寺元氏に同講演会の聞きどころを語ってもらった。

11月1日、東大鉄門記念講堂

「これから歯科医院が再生医療を取り扱うためには具体的にどのような備えが必要になるのか。奥寺 今年(2015年)5月24日までに、特定細胞加工物製造の届出を地方厚生局に提出しない医療機関等はできませんでしたが、そして届出を済ませた医療機関は今年の11月24日までに再生医療等提供計画の書類を地方厚生局に提出して初めて再生医療の取扱いができるようになります。」

「特定細胞加工物製造の届出は事務的な書類提出なので難しくありません。しかし、再生医療等提供計画の書類には再生医療等委員会が提出医療機関の管理の在り方を衛生面等からチェックした意見書が必要」と聞いています。

一線で活躍の臨床家が語る

血液臨床応用再生医療の実際

再生医療は歯科全体から見てこれまでどちらかといえば足が遠のく存在であったように思いますが、この法律施行により「特定細胞加工物製造施設」の届出が9月現在、全国で2千施設を超え、そのうち歯科関係が6,000施設あり、そのうち歯科関係がこれほど歯科がこの分野に取り組んでいることは認識していなかったと思います。

再生医療はこれからの歯科医療にとって身近なものとなつてきます。新法は関係学会の活発化につながり、再生医療の進歩への可能性を大いに高めるものと考えています。

講演会テーマに「再生医療新

法施行」を入れたのは再生医療を考える上で、新法が大きな意味を持つと考えたからです。

奥寺 再生医療は一種二種、三種に分かれます。PRPやPRFはリスが高くないので三種に入り、その三種の治療に法律が関与してくるというのはある意味ではマイナ要素ともなり得ますが、PRPやPRFについて批判を受けたながらも積極的に研究を続け、学芸等で発表し臨床応用してきた東京形成歯科学研究会や国際血液・幹細胞臨床応用会議(ISBB)の先生方にとっては、その成果が国に認められたということでもあります。法律の指導のもと国民に安心、安全な治療としての重要なボジションが与えられたわけ、法律施行は再生医療において多くの人が研究し、エビデンスを確立するための新たなスタートになると確信しています。

また、また法で歯科臨床に不利を生じないように監視の目を光らせるのも大切と考えています。講演会での聞きどころを教えてください。

奥寺 臨床の中でいかに再生医療を実践していくかを学びます。そのための演者は再生医療のスペシャリストをそろえました。

まず、東京大学大学院教授の高戸毅氏には、一般社団法人日本再生医療学会の立場から歯科への期待や歯科を取り組むべき研究などについて話していただきます。

そしてPRP、PRF、幹細胞の研究であり、この治療の牽引者で



講演会の聞きどころを語る
 奥寺 元 東京形成歯科学研究会理事長

ある国立陽明大学(台湾)教授の蘇正堯氏には、世界から見た血液臨床応用の現状と安全性について話していただきます。蘇氏はアジアで唯一の血液再生治療法教室主任教授の立場にあり、欧州、米国の関連学会の会員とも緊密な友好関係がある中で、日本の再生医療を世界に認識してもらったためのスポンサー的な役割を担っていらっしゃいます。また、WHOからもこの講演会についてのコメントをいただいています。

再生医療第三種の血液再生については基礎研究の第一人者である新潟大学大学院准教授の川瀬知之氏に、「血液生体材料の開発と臨床応用に関する現状」話してもらいます。

PRPの発案者は口腔外科医である米国マインネソタ医科大学のR.M.A.RX教授です。臨床家でもあった教授はボストン大学の血液学教室と連携しながら研究し、きめの細かい臨床応用を続けました。この考えを起点として美容外科も含めて世界各地にPRPの理論が生まれていきます。

さらに、第一線で活躍する臨床家による理論と実践ではハルビン医科大学客員教授の黄炳珍氏や、PRF研究会会長の高橋瑋氏、東京形成歯科学研究会の会員の渡辺泰典氏、増木英郎氏、奥寺俊允氏らが発表します。

そして、各講演会の座長として東京女子医科大学客員教授の石川烈氏、新潟大学大学院教授の大島勇人氏、東京大学大学院准教授の星和人氏、九州歯科大学の歯学部長、口腔再建リハビリテーション学分野教授、附属病院口腔インプラント科科長、川瀬知之氏、奥寺俊允氏らが発表します。

また、また法で歯科臨床に不利を生じないように監視の目を光らせるのも大切と考えています。講演会での聞きどころを教えてください。

一般社団法人 東京形成歯科学研究会／国際血液・幹細胞臨床応用会議 (ISBB) 主催

2015年度 第2回

再生医療 血液臨床応用 国際特別講演会

テーマ：「再生医療新法施行 自己血由来の成長因子を用いた再生療法 ～その理論と実際～」

世界で活躍する再生医療のスペシャリスト 3人

※諸事情により講演者の変更となる場合がございます。



高戸 毅
 JAPAN
 一般社団法人日本再生医療学会 理事長
 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻
 感覚・運動機能医学講座口腔外科学分野 教授
 東京大学医学部附属病院口腔外科 歯科矯正歯科 科長



蘇 正堯
 TAIWAN
 国際血液・幹細胞臨床応用会議 (ISBB) 会長
 国際再生予防学会 (WCPRM) 理事
 国立陽明大学 教授



川瀬知之
 JAPAN
 新潟大学大学院医学総合研究科
 顎顔面再建学講座 座歯科薬理学分野 准教授
 日本歯科大学新潟生命歯学部 客員教授



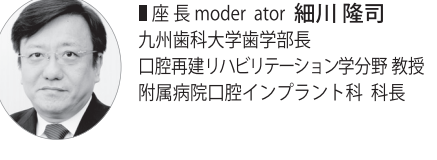
■座長 moderator 石川 烈
 東京女子医科大学先端生命医科学研究所 客員教授



■座長 moderator 大島 勇人
 新潟大学大学院医学総合研究科顎顔面再建学講座
 座硬組織形態学分野 教授
 一般社団法人日本再生医療学会 理事



■座長 moderator 星 和人
 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻感覚・
 運動機能医学講座口腔外科学分野 准教授
 一般社団法人日本再生医療学会 理事



■座長 moderator 細川 隆司
 九州歯科大学歯学部
 口腔再建リハビリテーション学分野 教授
 附属病院口腔インプラント科 科長

インプラント治療における再生療法では、足場(自家骨・他家骨・異種骨・人工骨)、細胞(間葉系幹細胞・骨芽細胞等)、シグナル分子(成長因子・骨形成たんぱく等)の組み合わせが成功の鍵となります。足場である骨移植材に細胞が入り込んでいきます。その細胞を引き寄せるシグナルとして成長因子が重要な働きを担っています。近年、この足場と成長因子の併用療法が臨床応用され、良好な結果を示しています。そこでこの講演では、日本で展開されている安全な PRP(多血小板血漿)や PRF(多血小板フィブリン)の生成法とその臨床応用例を紹介します。



奥寺 元
 一般社団法人東京形成歯科学研究会 (ISBB) チェアマン
 一般社団法人東京形成歯科学研究会施設長・理事長
 医学博士 奥寺 元

日 時 2015年 11月 1日(日) 9:10～17:00 (時間帯は予告なく変更となる場合があります)

会 場 東京大学 医学部研究科教育研究棟 14F 鉄門記念講堂

参加費 一般 30,000 円／早割(9月末迄にお申込) 25,000 円／東京形成歯科学研究会 会員 無料

主 催 一般社団法人東京形成歯科学研究会／国際血液・幹細胞臨床応用会議 (ISBB)

後 援 一般社団法人日本再生医療学会

第一線で活躍する臨床家 各種血液臨床応用製剤の現状 理論と実際



渡辺 泰典
 あけぼの歯科
 歯学部
 東京形成歯科学研究会
 ISBB 認定医



増木 英郎
 エルム駅前歯科医院
 歯学部
 東京形成歯科学研究会
 ISBB 認定医



奥寺 俊允
 王子歯科美容外科クリニック
 歯学部
 東京形成歯科学研究会
 ISBB 認定医



黄 炳珍
 大連医科大学客員教授
 ハルビン医科大学客員教授



高橋 瑋
 ハート歯科 歯学部
 PRF研究会
 インプラント再建学研究会理事
 「歯科を志す」はじまりの仲間
 学術顧問(代表) 大連医科大学客員教授
 ISBB American Academy of Regenerative Dentistry

会員募集中

詳細は下記「お問合せ先」までご連絡願います。

各 種 認 定 取 得 可 能
 国際血液・幹細胞臨床応用会議 認定医 (ISBB)
 国際顎顔面口腔美容外科アカデミー 認定医 他

厚生労働省関東信越厚生局認定

東京形成歯科学研究会認定再生医療等委員会

第3種の再生医療等提供計画に係る審査等業務を希望される実施医療機関は、下記までお問合せください。
 認定番号: N83150011
 認定区分: 第三種再生医療等提供計画のみに係る審査等業務を実施

お問合せ先

〒114-0002 東京都北区王子2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ 3F オクデラメディカル内 一般社団法人東京形成歯科学研究会事務局 担当: 押田浩文
 TEL: 03-3919-5111 / FAX: 03-3919-5114 / E-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp

[2015年度第2回 再生医療 血液臨床応用 国際特別講演会]参加申込書

以下の必要事項にご記入の上、左記(お問合せ先)内のFAX番号、またはE-mailアドレスまで送信ください。後日、事務局よりご連絡させていただきますが、事務局より連絡がない場合、左記(お問合せ先)まで電話くださるようお願い申し上げます。

フリガナ お名前	〒	TEL () - ()
貴院名	E-mail	FAX () - ()